

2022 年度活動概要

1. 研究・調査に関する事項

(1) JISS 勉強会

- 森本会長、今津理事長、片岡副理事長を中心に JISS 役員、研究員による勉強会を開催
- ・戦略三文書改訂に向けた「JISS 提言書」や「2022 #4 シンポジウム」等について議論
 - ・あわせて、「主要国の宇宙開発の最新動向」「日本の最新宇宙政策・計画、政策変更の動向」、「宇宙防衛戦略(案)」「日米協力」「研究体制の整備」等について議論
 - ・2023.2.16@オフィス、飯島防衛政策課長を講師に迎えて、日米「2+2」締結経緯、ウクライナ教訓、改訂 3 文書関連について意見交換を実施。その後、令和 5 年度上期事業計画について議論

(2) 宇宙安全保障戦略研究会

- ・片岡副理事・長島理事を中心に JISS 役員、研究員による勉強会を数回開催
- ・有人宇宙システム(株) (JAMSS 社) より調査研究契約の件
契約期間は約 4 か月間:2022.12.14~2023.3.31
米国調査 (ヒアリング) は、2023 年 2 月 12 日~18 日 (1 週間)
- ・片岡副理事長、月刊誌「Voice」2022 年 7 月号にて、「安全保障の命運を握る宇宙」を
発表
- ・片岡副理事長、2022 年 1 月 30 日、外務省国際報道官室にて中東欧州の記者に対して我が国の宇宙安全保障と宇宙産業に関するブリーフィングを実施
- ・片岡副理事長、2023 年 2 月 21 日、経団連宇宙開発利用推進委員会企画部会・宇宙利用部会合同会合にて、宇宙安全保障に関する講演を実施
- ・片岡副理事長、2023 年 3 月 8 日、自民党 宇宙・海洋開発特別委員会、安全保障調査会合同会議にて、宇宙安全保障構想及び宇宙基本計画策定への提言に関する講演を実施。

(3) MD 研究会

2022 年度も「ミサイル防衛を中心とした安全保障への宇宙利用の検討」テーマのもと、研究活動を実施した。

総会での方針に基づき、ホームページを通しての発信、会員参加の促進に取り組むべく、従来の幹部/研究員を中心とした研究会から、一般会員にも参加もため、自由に意見交換ができる分科会形式へと運営を変更した。

結果、コロナ禍が収まらない中ではあったが、外部からは正/賛助会員企業 3 社、個人 1 名の応募を得、7 月以降、月 1 回、計 6 回の分科会を以下のテーマを中心に開催した。

(1) ウクライナ侵攻と宇宙利用

- (2) 不透明さを増す東アジア情勢
- (3) ミサイル防衛に求められる宇宙システム

・分科会

- (#1)2022年4月21日；「宇宙システム」の全体像について（その1）
- (#2)8月30日；ウクライナ侵攻に見る戦闘の展開と宇宙利用、
- (#3)9月22日；ウクライナでの宇宙利用で活躍する宇宙関連企業等
- (#4)10月28日；田中三郎氏（中国軍事研究家）による**緊張が高まる台湾情勢と「台湾狙う！中国軍弾道ミサイル部隊」**
- (#5)11月24日；繰り返される北朝鮮の弾道ミサイル発射
- (#6)3月16日；「反撃能力（スタンド・オフ防衛能力）」

の計6回、研究会を開催。

●研究レポート【中間報告】の発行（2023年3月）

研究会では、毎年活動内容に基づく研究報告^[注]をレポートとして発表している。3年目となる2022年度は、副題を「迫りくる有事、ミサイル攻撃への備え」とし、上記の研究テーマ「ウクライナ侵攻と宇宙利用」について【中間報告】として発表した。

- [注]・20年度版:脅威とそれを迎撃する我が国の防衛システムの現状と課題
- ・21年度版:我が国の特徴を踏まえたミサイル防衛宇宙システムへの要求機能

(4) IT 研究会

- ・「AI」；リモートセンシングにより取得した画像などの解析に用いられる画像解析のためのAIについて学習する環境の作成及び教材の開発を行い、有志自衛官（陸自、航自各1名）に教育を実施。
 - ・「QKD（量子暗号通信）」；安全保障関係での利活用に係る相談対応（3回）
 - ・「量子コンピューティング(量子インスパイアード)」；防大教官や自衛官等に対して教育を実施。環境構築終了、提供開始。
 - ・「サイバー安全保障」；ロシア・ウクライナ戦争にみる衛星通信の利活用とその基盤となるIT技術やサイバー空間に係る安全保障の枠組みや国際法などについて普及啓蒙のため、講演を実施。
- 又、武力紛争法上の評価について検討した。高橋主席研究員、大内研究員を中心に、マイクロソフト、東芝などとともに関心会、意見交換会を実施。

(5) 産業委員会

- ・キックオフの朝勉強会 2022年4月21日（宇宙と安全保障を考える会）・・・中谷真一先生、JISS 役員（森本会長と今津理事長と岩崎顧問）、講演者は鈴木一人（東京大学教授）、

- ・#1 委員会 6月15日 … 産業界（JISS 法人正会員のみ）
JISS シンポジウム(7/27)第2部「民間産業の宇宙事業と今後の課題」に関する意見交換
- ・#2 委員会 10月12日 … JISS 役員（今津理事長）、講演者は佐藤太郎 1 空佐（内閣府）
洗井理事の企画と立案により、初年度立上げ、計3回の勉強会を開催した。

2. 政策の支援・分析・提言に関する事項

2022年12月17日：戦略三文書改訂に向けた「JISS 提言書」について。

11月、会長と理事長より提出先（政府・自民党関係者）手交頂いた結果、国家安全保障戦略の宇宙安全保障に関する総合的な取組の強化にて、JISS 提言趣旨にも沿った形で「このような宇宙の安全保障の分野の課題と政策を具体化させる政府の構想を取りまとめた上で、それを宇宙基本計画等に反映させる」との構想策定への指針に記載されたものが閣議決定された。

3. シンポジウム

2022年7月27日：衆議院第一議員会館（1F 国際会議場）にて実施

テーマは、「日本の宇宙に関する諸活動に関し、広範な討議を行うことを通じて国家安全保障に寄与する措置・手段を増進する」。

約120名（コロナ禍を考慮して会場参加を関係者95名に制限し、オンライン参加者25名）がハイブリッド形式で参加。

- ・第1部 宇宙活動に関する日米協力（司会：岩崎茂元統幕長）
- ・第2部 民間産業の宇宙事業と今後の課題（司会：河村建夫元衆議院議員）
- ・第3部 日本の安全保障における宇宙利用（司会：長島純 JISS 理事）

4. 国際プロジェクトの推進に関する事項

- (1) 2022年10月19日：米国国家宇宙会議事務局との意見交換(#1回)
ホワイト・ハウスとリモートで実施
- (2) 2023年3月22日：米国国家宇宙会議事務局との意見交換(#2回)
JISS 事務所（紀尾井町）で実施
- (3) 2023年3月30日：米国防大学（宇宙部門担当グループ）と意見交換

5. 組織体制整備に関する事項

- (1) 2022年度 社員総会（計2回の開催）
 - ・6/9（定時社員総会）⇒ 理事重任、長島理事就任、渡辺理事退任
 - ・10/7（臨時社員総会）⇒ 代表理事就任(重任)、西川監事重任、外園理事就任

(2) 2022 年度 理事会 (計 4 回の開催)

第 1 回理事会 : 2022 年 5 月 23 日(月)

第 2 回理事会 : 2022 年 9 月 13 日(火)

第 3 回理事会 : 2022 年 2 月 7 日(水)

第 4 回理事会 : 2022 年 3 月 7 日(火)

6. 委託研究・調査受託

2022 年 12 月、調査研究を契約。